

3 年学年だより

『努力・優しさ・素直な心』

- ・授業、ルールを大切に
- ・自分を大切に
- ・仲間を大切に
- ・進路を切り拓こう

門真市立第二中学校 3 年学年通信 第 1 2 号 2 0 2 3 年 6 月 5 日（月）

体育祭を振り返って～みんなの心に残ったことは？～

たいいくさい お よっか た つか と きんにくつう なお
体育祭が終わり、4 日経ちました。そろそろ疲れも取れ、筋肉痛も治ったことでしょう。みんなが書いてくれたたいいくさいのふ、かえ、ぜんぶよ、みんなのおも、このころのこ、がんばったことなどを知れてよかったし、最後の体育祭がみんなの心に残る行事になったことを嬉しく思います。きょう、いちぶ、しょうかい
今日は、その一部を紹介します。

○一番心に残ったことは、やっぱり全学年全員のソーランです。肩車で歩いていく時に一年生が「おー」って言っていたのが聞こえて、すごい誇らしかったし、松林さんが「かまえ」って言った時は、もうこれで最後の体育祭かって感じて寂しい気持ちになったけど、全力で思い出を残そうと思って踊りました。藤井さんや川妻さんが言っていたけど、コロナであんまり心に残っている思い出が少なかったから今回こんな体育祭ができて本当に良かったなって思いました。全員リレーも大縄跳びも、何かをみんなで協力してやり切ることができてよかったし、〇〇さんや△△さん達がかんばって学校に来てくれて一緒に思い出をつくることができて良かったです。こんな体育祭を最後にすることができてうれしかったです。

○体育祭で、ソーランが 1 番心に残りました。初めソーランを踊ると聞いたときは、「そんなんでできるのかな」ってネガティブになっている自分がいたけど、練習しているうちに声を出して全力で踊れるようになり、3 年生として後輩にかっこいい姿を見せたいって思うようになりました。本番踊っているとき、声を出して精一杯踊っていたら、とても気持ち良かったし、心が 1 つになっている感じがしました。今回は全学年合同で、3 年生すごいって思ってもらえるか心配やったけど、全力で競技に参加して、全力で応援することができて、1、2 年生に良い先輩を見せることができたと思いました。今年の体育祭はまさに青春でした。また全学年で行事したいです。

○3 年生の体育祭は、最後ということで中学校の 3 年間で一番頑張りました。その中でも一番頑張ったことは、みんなで踊った二中ソーランです。小学校の時に踊ったことはあったので、基本は踊れるけど、少し違うところがあったので、それを覚えるのが大変でした。学校で練習する時間がない時は、家で覚えてくるなどの努力やリーダーとしての責任など、色々なことがあったからこそ、本番で踊った後の達成感が高く感じられました。踊り終えた後の 3 年代表の藤井さんと川妻さんの言葉に対してすごく感動させられ、その後の田野先生の言葉にも感動させられて、本当にやってよかったなと心に残りました。個人走や全員リレーで 1 位になれたし、楽しい体育祭だったと思います。

○私は、みんなで参加する行事が嫌いでした。体育祭の練習も本当はめんどくさいなと思いながら取り組んでいました。でも、練習をしていくうちに、みんなで踊れるようになってくるのが楽しかったです。筋肉痛で足や腰が痛くても頑張りました。一番お世話になっている先生と一緒に授業できるのがもう終わるって考えたらずっと悲しかったです。先生が練習中に話してくれた熱い思いが私にとっても響きました。いろいろあったこの中学校生活、最後の体育祭で全力を出し切ろうと思えました。リレー、綱取りも全力で頑張りました。そして、フィナーレのソーラン。音楽がかかった瞬間、足も痛いけど、おもいきり腰下げて一番頑張りました。みんな終わった後、泣いていて私も感動しました。全力で頑張ったらこんなにもいいものになるんだなと実感しました。この体育祭は中学校生活の一番の思い出と感動です。

○私は体育祭でソーランを踊ることが決まった時、あまり時間も無いし、修学旅行もあって、本番で最後まで踊りきれるかとても不安でした。でも、家で一生懸命練習して、授業でも細かい動きを確認して、そして本番の日を迎えました。2 年生が踊っている時、肩車がうまくいか、振りつけを忘れず踊りきれのかなど、緊張と不安で胸がいっぱいでした。だけど、いざソーランが始まると、このソーランを全力でやりきりたい！全学年でのソーランを創りたい！という思いのほうが強くなり、ソーランを楽しく、そして全力で踊りきることができました。終わった後は達成感が凄く強くて、ここまでソーランを皆で練習して、やりきれて良かったなあと思いました。中学校生活最後の体育祭を、この気持ちでやりきることができて本当に良かったと思います。

○全部全力で、しっかり頑張れたけど、一番頑張ったのは二中ソーランです。二中学生全員で 3 年生が中心になって踊れて、本当に感動しました。練習では、全然やらなかった人もしっかり頑張っていて、みんなで声を出すことがとても楽しくて、やって良くなってなと思いました。全体練習なしだったけど、1 発でみんなで揃えることができ、感動しました。3-4 のみんなで作戦を考えた時間、練習をした時間、全部とても楽しくて、全部最高の思い出になりました。円じんを組んだり、みんなで全力で応援できたのも、みんなで盛り上がり、全力で取り組めたからこそだと思います。結果は練習よりもだめなことあったけど、気持ちが 1 番大切なのでみんな全力でできたことが何よりも良かったと思いました。

○僕はもともと運動が苦手でした。リレーや個人種目、ソーランなど、どれも自信がなく、本番で失敗しないかどうか不安でした。ですが応援してくれた学年のみんなや、来校して下さった人たちのおかげで失敗を恐れて取り組むよりも、間違えてもいいから全力でやり切るの方が何倍も重要だと思えました。練習の時に全くそろわなかったソーランも、綺麗にそろい、声もよく出ていて二中学生全員で最高の作品にできたと感じています。ここまで達成感や一体感を感じることでできる機会はめったにないし、終わった後に感動して泣いていたのもそれだけ体育祭にかけろみんなの想いが真剣なものだったからだだと思います。これからの学校生活、社会に出て活動したときも、この経験を忘れることはないだろうし、辛いことがあってももっと頑張ろうと思えるようにしていきたいです。



○私が一番頑張ったことはソーランです。ソーランの前に行った種目は、全学年ではなくてもできたのですが、ソーランは、全学年がそろって初めて完成するものだったので、当日までとても楽しみにしていました。そして、ソーランの思いを田野先生や東先生がおっしゃってくれていたため、気合いの入れようが違いました。五月は行事がたくさんあって、練習がたくさんあったわけではありませんが、当日しっかりと踊ることができたのでよかったです。ソーランの最後、体育委員の人が思いを話してくれている時は、とても感動しました。また田野先生が話してくださっている時もとても感動しました。思い出に残る体育祭にすることができたのでよかったです。

○一番頑張ったのはソーランです。練習ではあまり声を出さずに踊っているだけだったけど、本番は周りを気にせず、自然と声が出たので良かったです。ソーランの後も、先生や親、生徒が泣いていたりして、もらい泣きしました。自分たちにとって最初で最後の全学年での体育祭、3年最後の行事が1番楽しくて、この行事が最後で良かったと思いました。全学年でなにかを創り上げていくことは簡単じゃないし、なかなかできることではないけど、全員で何かを頑張って創っていけて本当に楽しかったし、思い出に残りました。

○全学年とする体育祭は、最初で最後だったけど、いろんなところでいろんな人が頑張ったり、協力していて、3年生だけでなく、1,2年生のことも応援していたのがよかったと思う。全学年でしたソーランは、初めてだったけど、肩車も落ちたりしていなかったし、全員が全力で取り組んでいたのがよかった。二中の歴史を全学年で創れたのが一番心に残った。

○3年間大きい行事があまりなくて、全学年での行事も初めてで、めっちゃ楽しかったし、達成感がすごかった。全員リレーでは、1組は練習ずっと最下位で、本番でも初めは最下位だったけど、みんながあきらめずに走って、応援した結果、2位になったときは嬉しすぎてガッツポーズしてみんなで喜んだ。ソーランでは、全学年で練習したことなくて、練習期間も少ないのに、肩車からかっこよく登場できて、「かまえ」もピシッとそろって、声も今までで一番出たと思うし、練習してきた成果が出て、達成感がすごかった。これで、大きい行事は終わりって思うと悲しいし、もっとみんなでいろんな思い出を作りたいと改めて思った。でも、全学年で体育祭ができたことは、当たり前ではないし、雨でどうなるか分からなくて、それでも朝からみんなでグラウンドの整備をして、みんなで創り上げられて本当によかった。

○中学校最後の体育祭は、今までで一番楽しかったし、最高の思い出を作ることができました。自分の親も、後輩にも、見られている中で、緊張もしたし、全ての種目で1位を取れたわけではないけれど、みんなに応援もされて最後まで頑張ることができました。ソーランも、初めはなかなかそろわなくて、上手いかなかったけど本番は今までで1番かっこいい姿をみんなに見せることができて良かったと思います。家に帰った時、親に「かっこよかった。感動した!」って言われてめっちゃ嬉しかったし、やって良かったなと思いました。何より最後の体育祭をこんなにも心に残る体育祭にすることかできて良かったし、この体育祭で学んだことを大切に、残りの中学校生活に生かしていきたいと思いました。

○私は、選抜リレーや全員リレーで走ることがとても嫌でした。自分の心の中で、「自分のせいで負けたでしょう」、「こけたらどうしよう」などのネガティブなことばかり考えていました。でも、みんなが負けていても最後まで一生懸命走る姿や応援をする姿を見て、自分も頑張らないといけないなと思いました。だから私は、最大の力で最後まで走りきることができました。大縄跳びでは、練習の時よりみんなが跳んでくれて、私ももっとみんなが跳べるように声をかけようとか、もっと大きく回そうとか、一人ひとりが頑張ったのが結果につながってよかったです。綱取りでは、どんなに引きずられても、転んでも綱をつかんではずさず、引っぱったことが心に残っています。でも、私が一番心に残ったのは、ソーランです。練習の時は、なかなかそろわなかったのに本番ではみんなでそろえて踊ることができたし、声も今までの踊りの中で一番かっこいい声を出すことができたと思います。ソーランをみんなで踊って私が思ったことは、みんなで一つのことをするのはやっぱりいいなと思いました。

○今回の体育祭は全学年でできるって聞いてめっちゃ嬉しかったし、楽しみでした。でも、修学旅行やテストなどの予定がたくさんあってソーランの練習ができなくて、声も出なくて「やばいやん」って思ったけど、練習を重ねるうちにうまくなってって、最初の「かまえ」もそろうようになってきて練習を頑張ってたよかったなと思いました。肩車をするとき、うまくいかなくてケガとか起きないか心配だったけど、本番では成功してはじめて感動しました。「かまえ」もそろったし、声も練習のときよりも出せたし、腰も低く下げて本番の空気感がビシとなったので、終わったときに涙が溢れてきて我慢するのに必死でした。みんなの顔を見た瞬間にとっても安心して、この3年間一緒に過ごしてきて、さらに絆が深まったなと思いました。もうこのみんなで体育祭をすることは一生ないけど、一生の思い出に残る体育祭ができたのでよかったです。

○私たちの体育祭は、1,2年は学年別でした。学年だけでやる体育祭もすごく盛り上がったのですが、先輩のことをあまり知ることができず、コロナで先輩と関わることも少なかったです。なので、全学年で体育祭をすると聞いた時、とても嬉しくなりました。初めは、ソーランは嫌だと言っていた人も本番になったら真剣に踊っていたり、汗をかいてちゃんと踊っていました。それを見た先生たちも涙を流していました。全学年で初めて合わせたソーランが、本番当日だったけど、みんなのやりきった笑顔と涙に感動しました。先生たちから「よく頑張った」、「めっちゃかっこよかった」などの言葉をもらって、みんなからも「頑張った」、「楽しかった」、「やりきった」などの声がたくさんありました。今回の体育祭は、すごく心に残る思い出ができました。これからもその思い出を心において、大人になったときにも「中学校の体育祭はとても楽しかったよね」と思い返せるように胸にしまっておきたいです。

○体育祭で一番頑張ったことは、ソーランです。普段の体育の授業のときからしっかり練習をしてわからないところを家で練習したり、友達と確認合ったり、たくさん準備してきました。肩車で友だちの肩に乗るときも、ゆらさないようにしたり、背筋をのばしたりするなど気をつけました。本番では、はっぴを着て、ハチマキをまいて今までで一番一生懸命に頑張ってたことができて、とても楽しかったです。親や先生方に、学年みんなそろっている踊りを見てもらうことができてうれしかったです。終わった後の達成感が一番大きくて、楽しかったです。